写真提供　神戸新聞社

企画1

＜記念講演＞

阪神淡路大震災における アスベスト飛散の検証

熊本学園大学社会福祉学部教授　中地重晴 氏

企画2

震災アスベスト・ クロスロードゲーム

「震災とアスベストに関するクロスロード」
神戸大学倫理創生プロジェクト制作

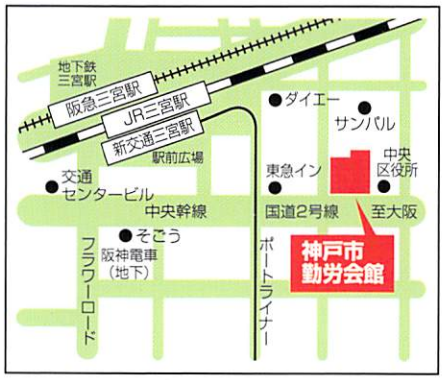
阪神淡路大震災から25年

震災とアスベストを考えるシンポジウム

2020年1月11日（土）

13時30分～

神戸市勤労会館　大ホール



＊三ノ宮駅から徒歩5分

写真提供　神戸新聞社

アスベスト粉じんを吸い込むと、10数年から50年もの長い潜伏期間を経て、中皮腫や肺がんなどの重篤な病気を発症します。アスベスト特有のガンである「中皮腫」による死亡者数は年間1,500人を超えており、今後さらに石綿関連疾病の増加が予想されています。

災害発生時におけるアスベスト飛散と健康被害を防ぐためには何が必要なのか、一緒に考えましょう。

この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

主催　震災とアスベスト実行委員会

神戸市中央区古湊通1－2－5　DAIEIビル3階
NPO法人ひょうご労働安全衛生センター内
TEL (078)382－2118　FAX (078)382－2114